

アオハる ～青春～

2020年1月17日発行

新しい年となり、皆さんにとって「勝負の年」が始まりました。今までの17年間の人生で最も重要な年と言っても過言ではありません。進路とは自分の進むべき路です。単に就職か進学かだけで考えを止めるのではなく、どう生きていくのかをしっかりと定めてほしいです。

1年後、令和3年1月の皆さんはどんな気持ちで学校生活を送っていますか。未来に希望を持って心躍らせる自分になっているのか・・・楽しみです。

この1年間の行動で未来は変わります。
「勝負の年」令和2年、スタートです。

三者面談

来月中旬から三者面談が始まります。この時期は「3年生0学期」と言っても過言ではなく、既に就職・進学に向けてのスタートラインに立たされているということを、明確に意識してほしい時期になりました。

面談までのこの機会に、是非とも親子で話し合いの場を事前に持ち、お互いの胸の内を確かめ合い、納得し合っておいていただきたいと思います。そのような親子での共通理解があってこそ、面談の場ではより生産的な話し合いができます。親子だからこそすでに解り合えていると思いこまずに、親子だからこそ（熱くなることもあるかも知れませんが）お互いの考えに耳を傾けて冷静に話し合い、先に繋がるような意思の疎通を図ってみてください。

基礎力診断テスト

過日1月11日に、2学年の全員を対象に基礎力診断テストが行われました。これは近年の就職試験において出題される、社会人としての基本的な学力についてのテストです。また、進学を考えている生徒にとっては、基礎を固める意味でも進学する学校に対して自分の力を測る意味でも有効なテストです。

結果が届いたら、ぜひ見直して解きなおしをしてみてください。

インターンシップ

二年生も終盤となり進路選択の時期が迫ってきています。

進路選択の道筋として、一年生の時には企業見学を、二年生では職場体験（以下インターンシップとします）を実施します。

改めて、インターンシップのメリットは

- ① 社会人として働く様子を具体的に確認できる。
- ② 仕事に必要な知識・技術・意識などを学ぶことができる。
- ③ 社員から業界や仕事の詳しい話を聞くことができる。
- ④ 自分を売り込む場として活用できる。
- ⑤ インターンシップの経験は、自己PRや志望動機のネタになる。

など、さまざまなことがあります。

先輩の中にはインターンシップでお世話になった企業にそのまま内定・入社した先輩もいるくらいインターンシップは重要です。インターンシップでお世話になる数日間に、上記のメリットを1つでも多く体得してほしいと願っています。

また一方では、インターンシップを受け入れてくださる企業側にもメリットがあります。

- ① 仕事の一部をお手伝いしてもらえる。
- ② 学生を育てる役割を担うことで、企業の印象を良い方向へ高めることができる。
- ③ 学福の生徒のイメージを理解することができる。
- ④ 採用候補者を探すことができる。

などです。これを十分に理解してインターンシップに臨み、実りあるものにしてください。

今後の予定

2月	3日（月）	●インターンシップ（～2/7（金）まで）
	8日（土）	●実力診断テスト（大学進学希望の者のみ）
	17日（月）	●三者面談期間
	20日（木）	●全校集会・一斉指導（卒業式に向けて）
	29日（土）	●卒業式予行・表彰式
3月	1日（日）	●卒業式
	2日（月）	●代休
	3日（火）	●学年末考査（6日（金）まで）
	9日（月）	●就職講演会
	19日（木）	●終業式
	23日（月）	●学年末休業（～4/）